

新年のご挨拶



代表理事組合長

村野 英夫

明けましておめでとうございます。

組合員の皆様ならびに地域の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、9月の北海道胆振東部地震、台風24号など、自然災害が多く発生した1年でした。中でも台風24号は、当JA管内でも多くの家屋や農業用ハウスが被害を受けました。心よりお見舞い申し上げます。ビニールハウスについては、組合員の営農活動を少しでも早く再開できるように、職員を派遣し早期解体に努めました。

7月には各地区農業委員会と特定生産緑地制度を中心とした説明会を開催しました。多くの組合員の皆様にご参加いただき、将来にわたる農地の保全に向けて理解を深めていただきました。農政面においては、9月に都市農地の貸借の円滑化に関する法律が施行され、生産緑地の貸借が可能となりました。また、平成31年1月から始まる収入保険制度の説明会を各地区で4回にわたり開催し、制度の周知をはかりました。

昨年、当JAでは地域の皆様に農業を身近に感じていただくとうと、各地区で親子農業体験を開催しました。これからも農業体験を通じて農業の魅力を伝えていきたいと思っております。また、昨年は創立30周年の年にあたり、劇団四季のライオンキング鑑賞、大人の遠足シリーズ、おつつみの配布等、様々な記念事業を企画し、多くの組合員の皆様にご参加いただきました。

11月にはJA東京大会が開かれ、平成31年度からの3カ年計画として「東京の農業とJAの未来を拓く」の大会テーマが決議されました。本年も組合員の皆様ならびに地域の皆様から評価され、貢献できるJAを目指す所存です。昨年と変わらず皆様の倍旧のご愛顧、ご指導ならびにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆様のご繁栄とご健勝を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。